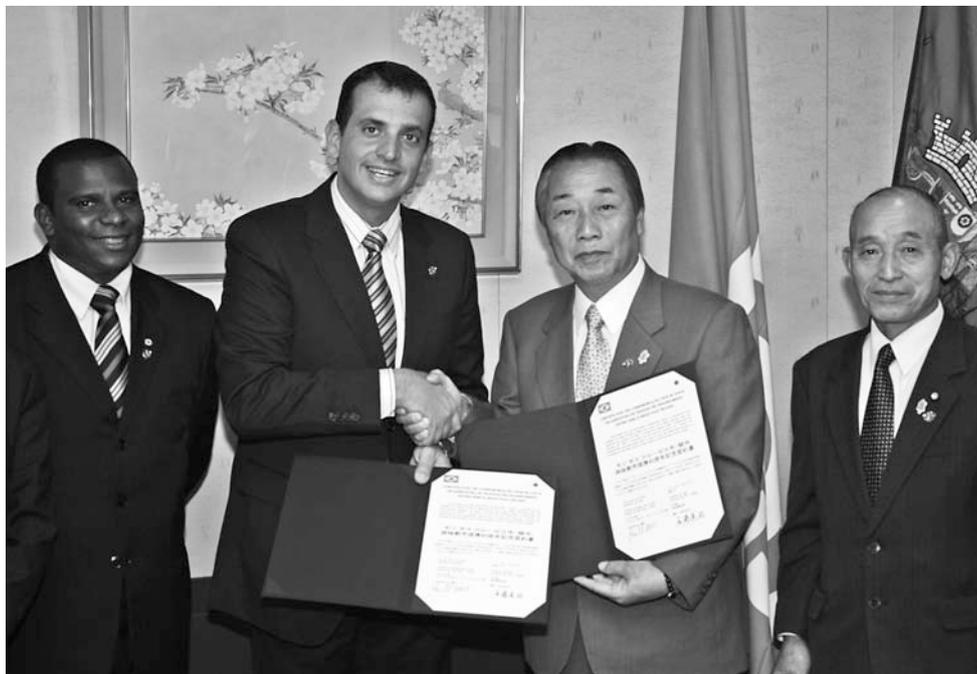


## 災難乗り越え 友好の 固い握手



アイスランドの火山噴火の影響を受け、中継地のパリで身動きが取れなくなっていたブラジルのモジ・ダス・クルーゼス市の訪問団が4月24日、予定より4日遅れて関市に到着しました。マルコ・アウレリオ・ベルタイオリ市長をはじめ5人の訪問団は、関鍛

冶伝承館を見学した後、市役所に来庁。当初の予定を大幅に短縮し、2時間半の滞在でしたが、ベルタイオリ市長と尾藤市長は、姉妹都市提携40周年を記念して交流を深める文書にサインをし、固い握手を取り交わすなど、両市の末永い友好を確認しました。

## あんな事、こんな事



### 優れたお土産、推奨します

関市観光協会(岸田昌久会長)は、同協会加盟店の食料品や民芸品、工芸品などの地域商品のブランド化を目的に初めて「推奨観光土産品」を審査・推奨し、その推奨状授与式を4月21日に市役所で行いました。今回、推奨観光土産品には11店舗の食料品21品目が選ばれ、岸田会長から推奨状と推奨マーク入りの木箱標識が贈られました。

### 大きく育てて

6月1日の友釣りの解禁を前に長良川中央漁業協同組合が4月15日、池尻の長良川河畔など、関、美濃両市の長良川や板取川、津保川など6カ所で、稚鮎を放流しました。稚鮎は体長10センチほどで、合計600キロ(約6万匹)が放流されました。同漁協の担当者は「今年は放流量を少なくして、1匹をより大きくできるように検証したい。多くの釣りに喜んでもらえば」と話していました。





## 富野地区のふれあい拠点完成

昨年9月から工事していた「富野ふれあいセンター」が完成し、4月19日に竣工式が行われました。式典ではテープカットのほか富野保育園児による演技や地元住民のフラダンスで完成を祝いました。富野ふれあいセンターは、鉄筋コンクリート造り2階建て、延べ床面積約878平方メートルで、多目的室や会議室、調理室、和室などを備えています。

## おみこし担いで勇ましく

倉知地区に江戸時代から伝わる「倉知まつり」が4月18日に開催されました。白山神社と鞍智神社からみこしがそれぞれ担ぎ出され、祭り場の関自動車学校で合流。2基のみこしは競り合ったあと、同校コース内の神木まで全力で駆け付けました。会場には太鼓の音と「さんやほう」の掛け声が響き渡り、地区住民は五穀豊穡を祈願しました。



## みこしをくぐれば無病息災

富之保岩山崎地区の水無神社で4月18日、奈良時代から伝わる春の例大祭があり、神様が大小2基のみこしに乗って、粟野地区の仮宮まで旅に出る「神幸渡し」が行われました。みこしに乗った神様を守る2人の「棒振りの鬼」が、こん棒で地面をたたきながら行列を先導。みこしの下をくぐると、1年間無病息災でいられるといわれています。

## 災難防ぐ花飾り

馬の背中に付けた花飾りを奪い合う「花馬まつり」が4月18日、武芸川町八幡の武芸八幡宮で行われ、多くの見物客が詰めかけました。ピンク色に染められた和紙の花が付いている花飾りを持ち帰って屋根に飾ると、災難を防ぐといわれています。馬が場内に駆け込むと、待ち構えていた人たちは勢いよく馬に飛びかかり、花飾りを取り合っていました。



## こぼれ話



皆さん、関市イメージキャラクターの愛称を覚えていただけましたか。「関＊はもみん」（呼び方：はもみん）といいます。はもみんには静岡市の秋山菜里さんのデザインと、関市の下村健太さんの愛称が採用されました。

関まつりの会場で、はもみんの実物が初披露され、そのかわいらしい体型やしぐさに、会場にいた皆さんはとても好感を持たれたことと思います。

実は関まつりの前に、はもみんは一度市役所を訪

れ、尾藤市長にあいさつをしています。その際、はもみんを目撃した庁舎3階の職員は口々に「かわいい」と言い、はもみんは職員のことをしっかりつかんでいきました。

イラストもいくつかのパターンが出来ており、今後「広報せき」の紙面上でもいろいろと登場する機会がありますので、どんなはもみんが載っているか探してみるのはいかがでしょうか。広報を読む楽しみが1つ増えていいと思いますよ。

